

みずほCustomer Desk Report 2020/05/13号 (As of 2020/05/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

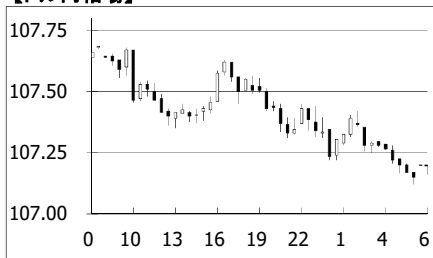
【昨日の市況概要】				公示仲値	107.52
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.60	1.0810	116.29	1.2329	0.6485
SYD-NY High	107.68	1.0886	116.86	1.2376	0.6535
SYD-NY Low	107.12	1.0785	115.96	1.2256	0.6432
NY 5:00 PM	107.15	1.0849	116.23	1.2256	0.6471
NY DOW	23,764.78	▲ 457.21	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,002.55	▲ 189.79	日本10年債	-0.010	▲ 1.00bp
S&P	2,870.12	▲ 60.20	米国2年債	0.1658	▲ 1.00bp
日経平均	20,366.48	▲ 24.18	米国5年債	0.3250	▲ 2.38bp
TOPIX	1,476.72	▲ 3.90	米国10年債	0.6659	▲ 4.00bp
シカゴ日経先物	20,175.00	▲ 355.00	独10年債	-0.5105	0.45bp
ロンドンFT	5,994.77	55.04	英10年債	0.2470	▲ 2.05bp
DAX	10,819.50	▲ 5.49	豪10年債	0.9590	▲ 1.90bp
ハンセン指数	24,245.68	▲ 356.38	USDJPY 1M Vol	6.88	▲ 0.38%
上海総合	2,891.56	▲ 3.25	USDJPY 3M Vol	7.40	▲ 0.30%
NY金	1,706.80	8.80	USDJPY 6M Vol	7.98	▲ 0.05%
WTI	26.33	1.25	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	122.63	▲ 0.05	EURJPY 3M Vol	9.03	▲ 0.31%
ドルインデックス	99.93	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	9.53	▲ 0.27%

【昨日の指標等】

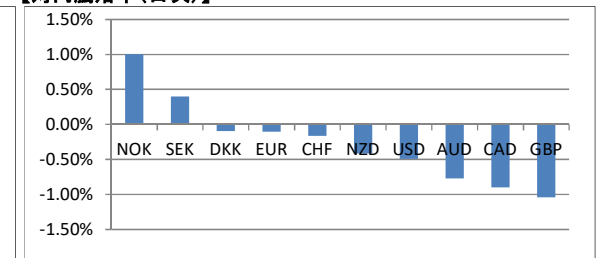
Date	Time	Event	結果	予想
5月12日	10:30	豪 NAB企業景況感	4月 -34	-
	10:30	豪 NAB企業信頼感	4月 -46	-
	10:30	中 PPI(前年比)	4月 -3.1%	-2.5%
	10:30	中 CPI(前年比)	4月 3.3%	3.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 -0.8%/0.3%	-0.8%/0.4%
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	「経済活動停止が長引けば大規模な企業破綻が起きるリスクが生じる」	
	22:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「新型コロナ流行からの回復は緩やかで弱い」	
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	「不適切な経済再開は感染第2波を招く恐れがある」	

Date	Time	Event	予想	前回
5月13日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -5.6%/-9.1%	0.1%/-2.8%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	3月 -6.0%/-10.5%	0.5%/-3.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -12.5%/-13.6%	-0.1%/-1.9%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	4月 -0.5%/-0.4%	-0.2%/0.7%
	22:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新しい相場のスタイル

ドル円相場は比較的円安レベルを保っているように見えます。3月末には一時101円台に突入した場面も見られましたが、その後は105-110円をレンジとして方向感に乏しい値動きを継続しております。

先週末に発表されました米国の雇用統計では1カ月の間に2千万人近くが職を失った事が明らかとなりましたが、為替相場への影響は限定的でした。

そもそも世界的に自粛生活が継続している中、外貨の交換ニーズが低下していると考えれば不自然な出来事ではないのかもしれませんが。

実生活では人との接触を減らす新しい生活スタイルが徐々に身についてきていると感ずることがあります。反応に乏しい相場のスタイルにも徐々に慣れてくるのかもしれませんが。(尾身)

アジア	東京時間のドル円は107.60レベルでオープン。米中貿易問題の再燃懸念や、中国武漢でロックダウン解除後で初めての感染例が報告されたことから、朝からドル円は上値が重い動き。107.35まで下落した後、小幅に反発し結局107.46レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は107.46レベルでオープンし、目新しい材料に欠けるなか、107円台半ばで動き乏しく推移。軟調な株価を眺めて朝方は安全資産としてのドルが買われ107.63まで上昇したが、その後、米株価指数先物がワラ圏に浮上すると、円の買戻しが入り107.31まで下げた。107.33レベルでNYに渡った。ポンドは1.2321レベルでオープンし、新規材料が見られない中、売り買いが交錯し方向感なく推移し、1.2372レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	中国が一部の豪食肉処理場からの輸入を本日から停止し、武漢でロックダウン解除後初のコロナ患者が確認されたことも嫌気され、海外市場で円買いが強まり、またその後は追加減産の思惑に原油価格が上昇する展開もあり、ドル売りが強まったことから107.31まで反落し、107.33レベルでNYオープン。朝方発表された米4月CPIは一部コロナウイルスの影響で物流網の混乱などで供給が追い付かず、食品物価が上昇する一方、大幅な原油価格低下を反映し、ヘッドラインはマイナ0.8%となったが、事前予想と一致したことから、ドル円の反応は限定的となった。その後107.45まで戻す局面もあったものの、米上院保健委員会で証言した米国立アレルギー感染症研究所のファウチ所長が、早すぎる経済活動の再開に対する懸念を示したものの、予想されていた発言であったことからドル円の反応は限定的となるが、原油価格が更に上昇する中、ドル売りが優勢となり107.22まで下落する。午後一旦107.42まで戻す局面もあったものの、いち早くロックダウンを段階的に解除しているいくつかの州での感染者数が増えていることが明らかになったことや、前述のファウチ所長の懸念が意識され、堅調に推移していた株式市場が反落し、良好な米10年債入札結果を受けた金利低下を受け、ドル円は107.25まで反落する。終盤に掛けては、明日のパウエル議長の現在の経済問題についての講演を控え、ややドルが買い戻されるが株式市場が大幅安で引けたことから107.12まで下落し、107.15レベルでクロスした。一方、リスク回避の動きに海外市場で1.0785まで下落したユーロは、その後はドル売りが優勢になり、1.0849まで戻し、1.0849レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.0886まで戻す。午後は株式市場が軟化する動きを受けたユーロ円の下落につれて1.0847まで反落し、1.0849レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14